文部科学省　研究公正推進事業　令和8年度　研究公正シンポジウム

研究の未来と公正性
生成AI時代の研究公正の課題とは

近年、生成AI技術の急速な発展により、研究開発を取り巻く環境は大きく変化しています。
その一方で、生成AIの活用に伴い、研究プロセスの透明性や研究成果の信頼性をめぐる新たな課題も生じています。
本シンポジウムでは、生成AIが研究活動や研究公正に及ぼす影響と論点を明らかにした上で、生成AI時代における研究の公正性をどのように確保していくかについて、「RRI(責任ある研究・イノベーション)」の視点も踏まえながら議論します。

令和8年
11/30 月　**13:30-17:00**
参加費無料

形式
会場+オンライン　要事前参加登録

[会場] 定員:200名
JPタワーホール&カンファレンス　ホール1+2
東京都千代田区丸の内二丁目7番2号　KITTE4階
アクセス:JR「東京」駅徒歩1分、丸ノ内線「東京」駅より直結

[オンライン開催] 定員:1000名
Teamsタウンホール

[対象者]
- 研究現場における公正な研究活動に関心のある研究者の方
- 大学・研究機関等で研究公正活動や研究倫理教育を推進・担当する方
- 研究室を主宰等する研究者の方
- 研究公正活動に関心のある方

《プログラム》

主催者挨拶
中釜　斉　国立研究開発法人日本医療研究開発機構 理事長

来賓挨拶
須藤 正幸　文部科学省 科学技術・学術政策局参事官(研究環境担当)付 研究公正推進室長

基調講演
「AI Slop Erodes Integrity and Trustworthiness of Science」
Mohammad Hosseini
Assistant Professor
Northwestern University Feinberg School of Medicine

講演1
「研究開発現場における生成 AI の活用と研究公正」
浜本 隆二　国立がん研究センター 医療AI研究開発分野 分野長

講演2
「学術誌における生成 AI に関する課題と研究公正の取組」
浦上 裕光　シュプリンガーネイチャー アカデミックアフェアーズ ディレクター(日本、韓国、東南アジア)

パネルディスカッション
「生成 AI 時代の研究公正の課題について」
【モデレーター】
札野　順　金沢工業大学 名誉教授
早稲田大学 大学総合研究センター 招聘研究員
【パネリスト】
浜本 隆二　国立がん研究センター 医療AI研究開発分野 分野長
浦上 裕光　シュプリンガーネイチャー アカデミックアフェアーズ ディレクター(日本、韓国、東南アジア)
林　和弘　文部科学省 科学技術・学術政策研究所 上席フェロー(併)データ解析政策研究室長
横山 広美　東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 教授
山本　憲　順天堂大学 健康データサイエンス学部 教授

お申込方法
下記URLまたは右の二次元コードからアクセスいただき、お申込みください。
https://business.form-mailer.jp/fms/ddf4170f364895
お申し込みはこちら

お問い合わせ
シンポジウム運営事務局　株式会社Piic
03-6822-5350(平日10:00~17:00)
kousei-sympo2026@piic-inc.com

申込締切
会場参加:11月25日(水)
オンライン参加:11月30日(月)12:00

主催　国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 AMED

共催
独立行政法人日本学術振興会(JSPS)
国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター(BRAIN)
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)